

## 【形状・構造及び原理等】

### \* [各部の名称]



### \* [作動・動作原理]

染色に必要な薬液を薬液容器に入れ、薬液容器間の移動順、各薬液容器での処理時間をプログラムに設定しておく。開始槽に置かれたバスケットは、プログラムに従って移動・処理が行われ、すべての処理が終わると終了槽に置かれる。アームがバスケットを開始槽から運び去ると、次のバスケットを開始槽にセットできるため、次々とセットすることで、最大11個のバスケットを並行して処理できる。

検体を張り付けたスライドガラスをバスケットにセットしておくことで、検体が順に薬液で処理されることになり染色が行われる。

### \* [仕様等]

共通 DRS-Prisma-P-JD, DRS-Prisma-P-JS

本体寸法：1250(W)×713(D)×630(H) mm  
(操作ディスプレイ部含まず)

本体質量：約150kg

1バッチ処理数：最大60スライド×最大11個装置へ投入可能

乾燥ステーション：温度設定範囲 30～65℃

電気的定格

電圧：交流 単相 100V ±10%

周波数：50/60Hz

消費電力：1000VA

型式：DRS-Prisma-P-JD (乾燥槽付)

薬液槽数：24～44槽

(水洗2槽, 開始1槽, 終了1槽, 乾燥2槽は含めず)

型式：DRS-Prisma-P-JS (乾燥槽・加温槽付)

薬液槽数：25～44槽

(水洗2槽, 開始1槽, 終了1槽, 乾燥2槽, 加温2槽は含めず)

加温ステーション：温度設定範囲 30～70℃

### \* [設置環境]

- ・温度 10～40℃
- ・湿度 30～85%RH (結露なきこと)
- ・高度 2000m以下

※本装置は、「販売名：ティシュー・テック フィルム、製造販売届出番号：20B2X00014000010」または「販売名：ティシュー・テック グラス ジー2、製造販売届出番号：20B2X00014000023」と連結することにより、染色から封入までを自動で行うことができます。

### 【使用目的又は効果】

本装置は病理学・解剖学や臨床病理学などで行われる組織学的研究及び検査において、顕微鏡用スライドガラス上の組織や細胞塗抹の検体の染色を自動的に行うものである。

染色の種類としては、主にH. E. (ヘマトキシリン・エオシン) 及びババニコロウ等の染色法に適用できる。

### 【使用方法等】

#### [必要とする設備]

##### 電源設備

容量：15A以上

接地端子：D種以上

##### 給水設備

使用水：上水道 (30℃以下、凍結なきこと)

圧力：動圧=0.098～0.441MPa

最大静圧=0.74MPa

配管呼び径：15A以上

##### 排水設備

方式：間接排水

排水能力：15L/分以上

#### \* [使用方法]

操作ディスプレイはタッチパネル式になっています。

手順の詳細は取扱説明書をご参照ください。

- ① 水道栓を全開にする。
  - ② 薬液が入った薬液容器と、水洗容器がセットされていることを確認する。
  - ③ 電源を入れる。
  - ④ [染色開始] キーを押す。
  - ⑤ 染色プログラムを選択する。
  - ⑥ 扉を開き、開始槽にバスケットをセットする。
  - ⑦ 扉を閉めて[開始]キーを押す。
- 運転(染色)が開始されます。染色が終了すると、操作ディスプレイにメッセージとブザーでお知らせします。
- ⑧ 扉を開き、終了槽からバスケットを取り出す。
  - ⑨ 電源を切る。

#### \* 【使用上の注意】

詳細は取扱説明書の「安全上の注意」をご参照ください。

#### \*\*、\* [重要な基本的注意]

##### 1) 使用前の注意

- ・装置の周囲に火気を近づけない。[可燃性薬液を使用する為、火災の恐れがある]
- ・排水ホースをつぶしたり、たるませない。[正常に排水されず、装置から水があふれだす恐れがある]
- ・給水ホース・排水ホースに傷がなく、確実に接続されていることを使用前に点検する。[予期せぬトラブルの原因となる]
- ・装置周辺の通風・換気を良くする。[本装置に使用する薬液によっては、人体に対して有害・有毒なものがある]
- ・装置周りの給排気口、空気口をふさがない。[装置の能力が低下するとともに異常過熱による火災・事故・故障などの原因となる]

\* 取扱説明書を必ずご参照ください。

- ・アームの移動範囲に障害物を置かない。[故障の原因となる恐れがある]
- ・運転前に染色プログラムを確認する。[誤ったプログラムで染色をすると、染色不良になる恐れがある]

### 2) 使用時の注意

- ・乾燥槽及び加温槽には、稼働時手を触れない。[手を触れると火傷の原因となる]
- ・アームの動作中はアームに手を触れない。[動作中のアームに触れるとケガをする恐れがある]
- ・フードは必要とき以外開けない。[長時間開いたままにすると、有機ガスが拡散しやすくなる。また、染色中にフードや扉を開けるとアームは停止するので、検体が乾燥したり染色時間が伸び、染色性に悪影響を与える恐れがある]
- ・フード開閉の際、隙間に手を挟まないよう注意する。[怪我をする恐れがある]
- ・染色テストを行い、運転条件を決定する。[誤ったプログラムで染色を開始すると、染色不良となる恐れがある]
- ・染色開始前に終了槽用の薬液容器がセットされている事を確認する。[バスケット同士の衝突や検体の破損の恐れがある]
- ・異常動作時は電源を切った後、電源プラグをコンセントから抜く。また、処理中の場合には、直ちに検体の保護を実施する。[予期せぬトラブルや染色不良となる恐れがある]

### 3) 使用後の注意

- ・腐食性のある薬液を使用した後は、その薬液を装置外にて保管し、装置内を十分に清掃する。[薬液によっては、腐食など装置を損傷させる恐れがある]
- ・薬液容器、バスケットを熱湯で洗浄、または薬液容器に入れた薬液を電子レンジで加熱しない。[薬液容器やバスケットが変形し、運転に支障をきたす恐れがある]
- ・装置の使用後は、水道栓を閉じる。[水道栓を開いたままにしておくと、水圧で思わぬ時に給水ホースが外れ、水漏れを招く恐れがある]

### 4) 薬液取り扱い上の注意

- ・装置内外で薬液をこぼさない。[薬液をこぼした場合、他の薬液を汚染する恐れがある]
- ・薬液交換の際には、他の槽にフタをする。[他の槽を汚染する恐れがある]
- ・装置の上に薬液等を置かない、また、塗装面、注意・警告ラベル、操作ディスプレイには薬液をこぼさない。[装置の上で薬液をこぼすと、装置が故障、破損する恐れがある]

### \*\*、\* [その他の注意]

- ・装置の周囲で紫外線殺菌灯を使用しない。[装置を破損する恐れがある]
- ・装置の仕様に記載されている定格水圧を順守する。[漏水が生じ、感電または装置が停止する恐れがある]

### 【保管方法及び有効期間等】

#### \* [耐用期間]

耐用期間：製造出荷後 8年[自己認証(当社データ)による]  
 条件：取扱説明書及び添付文書に記載された取扱注意事項あるいは保守・点検に係る事項を順守し、定期的に日常点検・保守点検を実施すること。  
 点検結果により、下記に示す主要な構成部品や保守点検事項に記載された交換部品を適切に交換すること。  
 保守に用いる主要な構成部品は下表の通り。

主要な構成部品名	使用耐用年数
駆動部	8年
制御基板	5年
液晶表示部	8年
検出センサー	5年
減圧弁	8年
電磁弁	8年
ヒーター	8年
ファンモーター	8年

※ここに記載した装置の耐用期間及び主要な構成部品の使用耐用年数は保証期間ではなく、上記の条件を満たした場合での平均的な年数となるため、使用環境、使用方法などにより異なります。

### 【保守・点検に係る事項】

#### \* [使用者による保守点検事項]

詳細は取扱説明書をご参照ください。

- ・薬液容器とバスケット  
定期的、薬液容器、バスケットは水または中性洗剤で洗浄する。
- ・活性炭フィルター  
定期的に新品と交換する。
- ・装置庫内  
1ヶ月に1回、水を含ませた布で清掃する。腐食性のある薬液を使用した場合は、その日の作業終了後にその薬液を装置外にて保管し、庫内を清掃する。
- ・乾燥槽  
1ヶ月に1回以上、乾燥槽内のパラフィントレーを水洗いする。
- ・加温槽 (DRS-Prisma-P-JSのみ)  
定期的、中性洗剤で洗浄した後乾いた布で拭き、同じ位置に収納する。
- ・アームホルダーおよびバスケットフック  
1ヶ月に1回以上、アルコールを含ませた布等でアームホルダーおよびバスケットフックを清掃する。
- ・水洗槽ノズル  
定期的、水洗槽ノズルを取り外し、各部品を中性洗剤で清掃する。
- ・排水ホース  
1ヶ月に1回以上、排水ホースの中を上水道で洗浄する。
- ・操作パネル保護シート  
汚れが目立つようになったら、新品と交換する。

#### \* [業者による保守点検事項]

- ・バッテリーユニット  
寿命が来たら新品と交換する。
- ・操作ディスプレイユニット  
寿命が来たら新品と交換する
- ・給水ストレーナー  
給水量が低下したらフィルターの清掃をする

### \*\* 【セキュアな運用の指針及びアカウント管理の指針】

#### 【セキュアな運用の指針】

- ・本装置を日常的業務(染色処理)で使用する場合は、操作者のパスワードでログオンする。
- ・本装置の運転中に無人状態になる場合は、ログオフする。
- ・廃棄の際は装置内のデータを完全消去すること。情報漏洩などのトラブルを回避するために、工場出荷状態に戻すことを推奨する。

#### 【アカウント管理の指針】

- ・管理者用パスワードは、初期設定のパスワードを使用せず、推測不可能なパスワードを設定して使用する。
- ・管理者は、必要に応じて操作者のパスワードでログインした時に使用できる機能を制限する。

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

名称：サクラ精機株式会社  
 電話番号：026-272-8381

製造業者

名称：サクラ精機株式会社 長野本社工場

販売業者

名称：サクラファインテックジャパン株式会社  
 住所：東京都中央区日本橋本町3-1-9  
 電話番号：03-5643-2630 (営業窓口)  
 機器の故障に関するお問合せ先：0120-392-874  
 (フリーダイヤル)